

E-11

いし み ある みなみ 石を見て歩く 南 アルプス

がんせき けんびきょう -岩石を顕微鏡で見よう-

みなみ ちゅうおうこうぞうせん きゅう やまやま おも
南アルプスといえば、中央構造線や3,000m級の山々を思いうかべると思います。そんな、^{そら}空に伸びている山々を作っている石も顕微鏡^{つか}を使って見ることができます！いつもは、^{いろ かたち ちが}色や形の違いしか感じていない岩石たちも、顕微鏡を使って石をのぞくとキラキラときれいな世界^{せかい ひろ}が広がっています。

顕微鏡で見えた世界の映像^{えいぞう}を最後^{さいご}はコースターにしてプレゼントします。

いま ^{ちが}と違^{めせん}った、目線^{たいけん}で南アルプスを体験^{たいけん}してみませんか？

◎石を見るための顕微鏡

岩石を観察するときには、^{へんこうけんびきょう}偏光顕微鏡という顕微鏡を使います。ふつうの顕微鏡と違うところは、ふつうはあらゆる方向^{ほうこう しんどう}に振動している光を、^{へんこうばん}偏光板を使って特定^{とくてい}の方向にのみ振動している光^{こうぶつ}にしているところです。この顕微鏡を使うと、岩石の中の鉱物^{しゅるい}が種類によって見え方が変わるため見分けることができます。

◎観察方法

- ①好きな岩石を選び、プレパラートを顕微鏡にセットする
- ②顕微鏡のピントを合わせる
- ③プレパラートを乗せた台^{かいてん}を回転させながら観察する
- ④きれいな石を見つけよう！

顕微鏡で観察したものを撮影^{さつえい}し、コースターにしてプレゼントします!!



◎観察のポイント

今回は長野県伊那市の南アルプスジオパークの岩石を用意しています。南アルプスジオパークは、地球のいろいろな場所でできた石を観察できる、珍しいエリアです。遠い海で生き物の死がい^{うみ い もの し}が降り積もってできた岩石、地中の奥深くでドロドロに溶けたり、固まったりしてできた岩石。これらは、日本列島の周辺^{にほんれつとう しゅうへん}のプレート活動^{かつどう}、または大きな断層^{だんそう}（中央構造線）の働き^{はたら}によって、南アルプスのふもとに集まってきました。南アルプスジオパークの石たちは、色や感触^{かんしょく}もさまざま。顕微鏡で見たときの見た目も岩石の種類によって変化します。たくさんの石を観察してみてください。



かわらの石の種類もいろいろ!!

南アルプスジオパーク伊那谷プログラムデザイン Team